



3つの居室に面して設けられたデイルームではスクエアタイプのベースライトに加え、器具の存在感や眩しさを抑えた「スマートアーキ ソフトライト」が採用されている

ショートステイの期間でも 家庭のようにくつろげる空間を提供

1891年、日本で最初の知的障がい者のための社会福祉施設として創設された滝乃川学園。広大な敷地内には、障がい児入所施設や障がい者支援施設、認知症対応型共同生活介護などの施設が設けられている。このたび竣工した、れすぱいとセンター「ひこうき雲」は知的障がい者を対象としたショートステイ施設。長年にわたって医療・福祉、障がい者施設の空間を「住む人、使う人の立場」でつくり出してきた株式会社新中央設計東京が設計にあたった。3つの居室とデイルームからなる3名用ユニットが4つ設けら

れ、利用者の状態に合わせて家庭的で落ち着いた生活ができるように配慮。職員室、キッチン、脱衣室は両ユニットから出入りができ、職員が見守りやすいように計画されている。ユニットバスにはアクアハート2室連結プランを採用。「浴槽は片方だけ置き、車いす利用など多様なケースでも職員が介助しやすいように計画した」と株式会社新中央設計東京 設計部の戸張 麻美氏。東京都のバリアフリー条例ではエレベーターの奥行きが1.35m以上と義務づけられている。当時は該当するエレベーターがなく、解釈をめぐる行政と交渉を重ねる必要があったが、確認申請の許可をうけ設置された。*

れすぱいとセンター「ひこうき雲」

RESPIRE CENTER HIKOUKIGUMO

れすぱいとセンター「ひこうき雲」



所在地 / 東京都国立市谷保
 主 主 / 社会福祉法人滝乃川学園
 計 計 / 株式会社新中央設計東京
 工 工 / 株式会社高砂建設
 構 造 / 木造 2階
 竣 工 / 2017年5月



①片方だけ浴槽を設けた2室連結プラン ②2名が同時使用する際はカーテンで仕切ることができる

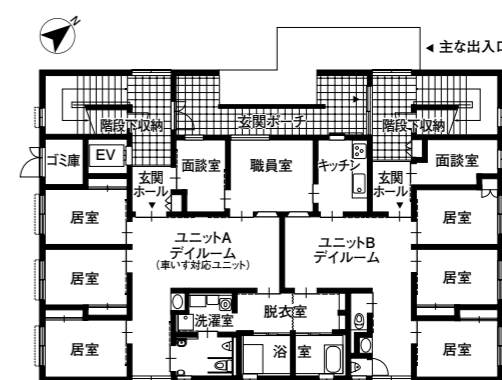


職員の手間を省く食器洗い乾燥機も備えたシステムキッチン



バリアフリーに配慮した小型エレベーター

1階平面図 2階も同様に3名用ユニットが2つ設けられている



- 主な設備
- アクアハート2室連結プラン
 - 小型エレベーター
 - 「XLミディモダンV」
 - システムキッチン「ラクシーナ」
 - LED照明器具ベースライト
 - スマートアーキ「ソフトライト」

※現在では条例に対応した小型エレベーター「XLウェルハート V」を発売している
 *キッチン画像提供：株式会社新中央設計東京